

# 高知大学 病院 ニュース

〔編集〕

高知大学病院ニュース

編集委員会

委員長 福島 敦樹

〔発行人〕

高知大学医学部附属病院

病院長 横山 彰仁

## 高知大学医学部附属病院における災害への備え ～ 医学部総合防災訓練を行いました ～

会計課

11月13日(金)、医学部総合防災訓練を実施しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、職員・学生合わせて約1400人が参加しました。

この訓練は午後の外来診療を原則休診とし、職種を問わず医学部の教職員・学生を参加対象に毎年行っています。

患者さんをはじめ、多くの方々のご協力のおかげで、今回も盛り多い訓練となりました。

厚くお礼申し上げます。

今回の訓練は、「南海トラフ巨大地震」が平日の昼間に発生したとの設定で行われました。県内各所から負傷者が搬送されてくることを想定し、災害対策本部構築(チームビルディング)からトリアージ(※1)実働までを組み込んだシナリオに沿って、訓練を進めました。

昨年度までの3年間は、詳しいシナリオを事前に提示しない「ブラインド方式」で実施してきましたが、自分が担当すべき役割について、事前に勉強する機会が必要との意見もありました。そこで、今年度は担当役割や行動表・役割カード(※2)を事前に提示すると共に、訓練説明会の資料に写真や図表を多用し、訓練時以外にも参照できる「テキスト」として作成することで、事前勉強の部分も重視しました。

訓練概要は、以下のとおりです。

### ●災害対策本部訓練

災害対策本部構築(チームビルディング)後、各部署からの人的・物的被害状況報告を集約し、各部署やトリアージ訓練各エリアに対応の指示を行いました。

### ●情報伝達・被害状況集約訓練

トランシーバーを使用した被害状況確認、ならびに紙媒体による本部への被害状況報告を行いました。

### ●トリアージ訓練

トリアージ講義・デモンストレーション後、模擬患者を配置し、トリアージから安定化処置までの一連の流れを実施しました。



チームビルディングをしている災害対策本部風景



負傷者搬送風景



各部署からの被害状況報告書受付風景



トリアージ実施風景

県内にある他の災害拠点病院からの見学もあり、訓練を通じた交流も図ることができました。また、医学部生の避難訓練・救護訓練も実施され、キャンパス全体で訓練に取り組んだ一日となりました。

『災害に強い病院』として、これからも実施方法を工夫しながら訓練を重ねていきますので、今後とも皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

※1 トリアージ…災害時・非常時に、多数傷病者のそれぞれの緊急度や重症度を判定して治療や後方搬送の優先順位を決めること

※2 行動表・役割カード…訓練参加者が取るべき行動を記載したもので、各エリアに用意している。行動表は壁等に掲示してエリア全員が参照し、役割カードは全参加者がそれぞれ携行することを前提に作成

## 乳腺センター・脊椎脊髄センター・脳卒中センターの開設について

高知大学医学部附属病院では、10月1日から新たに「乳腺センター」「脊椎脊髄センター」「脳卒中センター」の3センターを開設しました。

各疾患は特殊性があり、専門医と専門スタッフによる治療やサポートの必要性がきわめて高く、これまでも専門外来として診療に当たっていましたが、センター化することで、多職種によるチーム医療がよりスムーズに行え、患者さんにより安全・安心な高度な医療を提供することが可能になりました。

「**乳腺センター**」では、乳がんを中心とした乳腺の病気に、外科手術から薬物での治療まで幅広く対応しています。本院の特性を生かし、外来から入院まで切れ目のない治療および患者さんへのケアを行っています。

「**脊椎脊髄センター**」では、頸椎症や腰部脊柱管狭窄症、脊柱変形といった脊椎の病気に加えて、高齢者の方が多い骨粗鬆症関連の病気、脊髄腫瘍などの比較的まれな病気なども診療しています。

「**脳卒中センター**」では、脳神経外科医と神経内科医が連携をとり、本院以外の医療機関や救急隊からの脳卒中患者受け入れ要請に、積極的に対応しています。

9月24日(木)に記者発表を行い、病院長からは「センター化に伴う医療スタッフ同士の連携を通じ、若手スタッフや学生への教育効果に加え、専門医や専門看護師の育成にも期待が持てる」との発言がありました。

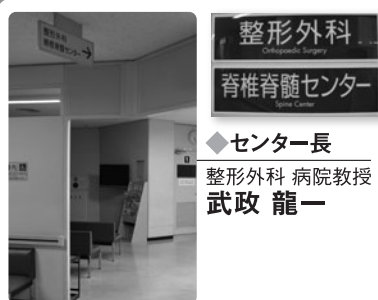
### 乳腺センター



◆センター長  
外科(一)病院教授  
杉本 健樹

問い合わせ先  
乳腺センター事務室 内:27252  
TEL:088-888-2139

### 脊椎脊髄センター



◆センター長  
整形外科 病院教授  
武政 龍一

問い合わせ先  
整形外科教室 内:22772  
TEL:088-880-2386、2387

### 脳卒中センター



◆センター長  
老年病・循環器・  
神経内科(神経内科)教授  
古谷 博和  
◆副センター長  
脳神経外科 教授  
上羽 哲也

問い合わせ先  
脳神経外科 外来(内)23380 病棟(内)26500  
TEL:088-888-2856

## 高知大学医学部附属病院再開発整備事業の一時中断について

病 院 長

高知大学医学部附属病院再開発整備事業については、平成23年度から着手し平成26年11月に新病棟が完成し、引き続き第一病棟・診療棟等の改修を予定していました。

しかしながら、第一病棟・診療棟等改修工事の入札手続きにおいて3度にわたり不調・不落となりました。

今回の不調について、その理由を入札参加業者にヒアリングしたところ、高知県内において大型公共事業の発注が相次ぎ、さらに今後も予定されていること、今回の工事が3年以上にわたる長期工事であること、また、震災復興事業やオリンピック関連事業により人材が県外へ流出していることから、高知県内の協力業者の見積

価格が上がり、協力業者(技術者)の確保が困難となり、期限内の工事完了が確約できないことが要因でした。

このような状況から、今後、再度入札手続きを行ったとしても業者を決定できる見込みが無く、平成27年8月3日開催の役員会において、高知大学医学部附属病院再開発整備事業の一時中断を決定いたしました。

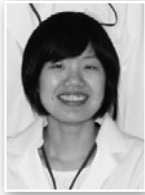
今後、事業を再開するにあたっては、高知県内の状況を勘案しつつ文部科学省と相談を行い、再開時期を判断したいと考えています。また、事業再開の際には、より良い附属病院再開発事業を進めるために、役員会の意向を踏まえ、これまでの事業計画の見直しを含めた再検討を行いたいと考えています。

# 初期臨床研修医紹介 Part 2

今回は17名(医:13名、歯:4名)のうち、9名を紹介します。

卒後臨床研修センター

- ①氏名
- ②出身地
- ③趣味・特技
- ④高知大学医学部附属病院での研修、ここがいい!!
- ⑤今後の抱負を一言
- ⑥将来の進路や関心のある分野



- ①岡本 奈緒(おかもとなお)
- ②高知県高知市
- ③スポーツ鑑賞
- ④自由なところと先生方が丁寧に指導して下さるところです。
- ⑤一生懸命頑張りたいと思います。
- ⑥内科系



- ①芝 佑平(しば ゆうへい)
- ②高知県高岡郡
- ③スポーツ
- ④指導医の先生方が教育に慣れていていろいろと勉強しやすいと思います。
- ⑤基礎の能力をしっかり身につけたいと思います。



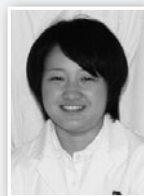
- ①堅田 千晶(かたたちあき)
- ②高知県香美市
- ③ジョギング
- ④自由! 自分の勉強する時間もあるし、業務も自分次第でいろいろやらせてもらえるし、自分のペースで研修できる。どの科の先生も熱心に指導してくれ、勉強になります。
- ⑤2年間、楽しく有意義な研修ができるように頑張ります。
- ⑥産婦人科



- ①全 秀剛(ぜん しゅうご)
- ②岐阜県岐阜市
- ③ドライブ
- ④先生方が親切、とにかく親切、また対応も非常に柔軟である所は素晴らしいと思います。過ごしやすい研修医ルームも素敵です。
- ⑤毎日のように様々な人と関わっていく中で、少しずつでも人間的な成長を遂げられればと思います。
- ⑥QOLの向上にかかわる分野



- ①倉岡 香弥(くらおか かや)
- ②徳島県三好市
- ③ジブリ鑑賞
- ④自分の目的に合ったスケジュールでローテートできているところ。知り合いのスタッフの方も多く、助けてくれる人が多い。
- ⑤自分のできることを増やして立派な医師になれるように努力したいです。



- ①中越 菜月(なかごし なつき)
- ②高知県高岡郡
- ③旅行
- ④先生方の手厚いご指導
- ⑤皆様にご迷惑をかけることが多々あるかと思いますが、一所懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願ひします。
- ⑥高知県で働きたいと思っています。

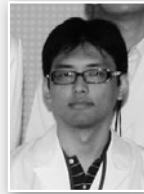
# 初期臨床研修医紹介 Part 2

卒後臨床研修センター

- ①氏名
- ②出身地
- ③趣味・特技
- ④高知大学医学部附属病院での研修、ここがいい!!
- ⑤今後の抱負を一言
- ⑥将来の進路や関心のある分野



- ①長野 祥(ながのしょう)
- ②高知県安芸市
- ③バスケ
- ④研修医向けのセミナー
- ⑤一日一つでもいいので、できることや新しい知識を増やしていきたいと思っています。



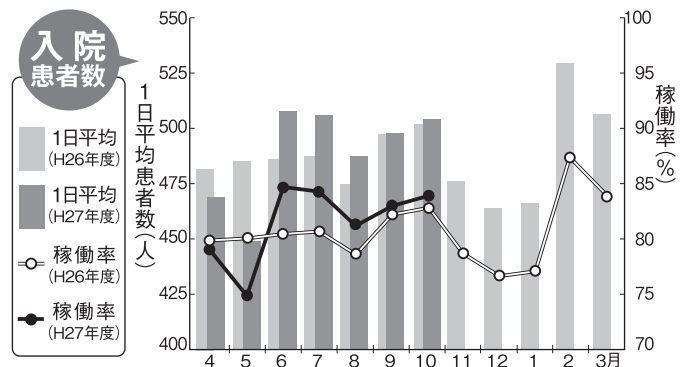
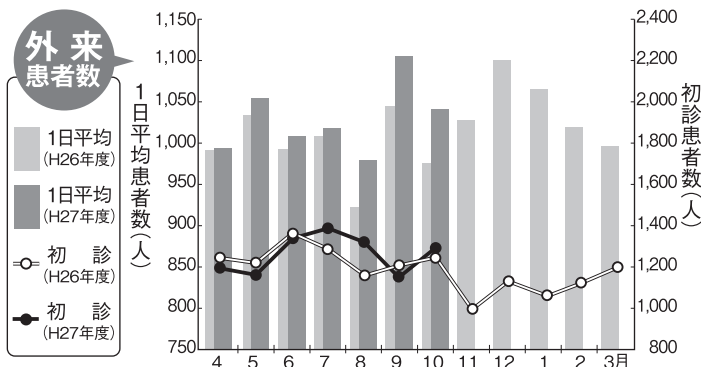
- ①山本 翔太(やまもとしょうた)
- ②東京都練馬区
- ③テニス、World of Tanks
- ④手技の練習のみならず病気に  
ついて考える機会が多くあること、加えて大きい病院で  
かできない主義・治療を見て  
学べるのは大きなメリットでは  
ないでしょうか。
- ⑤コミュニケーションを大切に  
し、できることをしっかりとやっ  
ていければと思います。
- ⑥メジャー内科系



- ①高崎 元樹(たかさき もとき)
- ②高知県高知市
- ③ボウリング
- ④教育体制がしっかりしてい  
て、自分の学びたいことを自  
由度高く学ぶことができます。
- ⑤常に成長し続ける医師を目  
指しています。



## 診療状況



### 編集後記

4月より病院ニュース編集委員を務めさせていただいておりますが、月日の経つのは早いもので、今年もまさに暮れようとしております。

さて、今号の1面では、11月13日に行われた総合防災訓練の内容を中心に高知大学医学部附属病院における災害への備えについて報告がありました。近年全国各地で思いがけない自然災害が相次いで発生しています。備えあれば憂いなし。近い将来必ず起こりうる南海大地震にしっかり備えましょう。

また、2面では、10月1日より新たに開設された、「乳腺センター」、「脊椎髄センター」、「脳卒中センター」について掲載しました。これらのセンターの開設により、県民のみならず、より安全かつ最新の治療を提供していきたいと思っております。

これからますます寒さが厳しくなりますが、みなさま体調には十分気を付けて良いお年をお迎えください。また、病院ニュース発展のため、今後ともご意見をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

(文責: 蘆田 真吾)